令和５年度　第２回スタッフセミナー

ＪＡ筑前あさくら　デイサービスよりあい　池田　英治

　令和５年９月２９日（金）、朝倉市総合市民センター（ピーポート甘木　第４第５学習室）にて「心のこもった認知症ケアのために」～バリデーションを通して～というテーマで、株式会社　いちょうの杜　施設長　堀江　桃子様を講師に迎えご講演頂きました。

セミナーでは堀江先生の介護職に就く前に自宅で行っていた義父の介護実体験や、いちょうの杜で行っているケアの話を交えながら、とても分かりやすくご教授頂きました。

認知症には「アルツハイマー型認知症」「血管性認知症」「レビー小体型認知症」「前頭側頭型認知症」があり、バリデーションをどのように活用し、どう今後のケアに活かしていけるか、為になる話をたくさん頂きました。

まず、その人の気持ちに寄り添い認める事、ただいつも元気よく笑顔で話しかけるだけではなく、利用者様の表情や声のトーン・テンポに合わせる『共感・傾聴』の大切さ、共感によって「この人は自分の事をわかってくれている」と信頼が生まれ、信頼から安心感、安心感から強さが、強さから自尊心を高め尊厳を取り戻していく事に繋がっていくと話して下さいました。

例えば、利用者様に対して挨拶等の声掛けを行う時、軽く肩などに手を置き軽いボディタッチを行ったりして話をしていましたが、認知症の進行によっては、毎回職員のことも知らない人とリセットされている可能性もあり、「知らない人に身体に触れられることは気持ちの良い事ではないですよね？」と言われた時は、利用者様の為に良いと思い行っていたケアでしたが、逆に不安や嫌悪感を与えていたかもしれないことに気づかされました。認知症についてまだまだ理解ができていなかったと思いました。先生はこれからも学ぶことはたくさんある事に気づかせて下さいました。先ずは今回の研修で学んだ事を実践し取組んでいきたいと思います。そしてまた先生のお話を聞きたいと思いました。

堀江先生、大変有意義な公演を頂きまして、誠にありがとうございました。